

銚子市イベントごみ減量ガイドライン

イベントから出るごみを減量！

イベントを開催すると一度に大量のごみが出てしまいますが、イベントでごみの減量に取り組めば大きな減量効果を期待することができます。主催者は企画の段階から「ごみが出ない・出さない」エコイベントの開催を心がけましょう。特に毎年開催するイベントでは、ごみを前年比10%以上減らす計画を立てて実践しましょう。エコイベントが繰り返し実施されることでノウハウが定着します。

ごみ減量担当者を決める！

イベント全体を環境に配慮したものにするために、ごみ減量担当者を決めましょう。ごみ減量担当者は単にごみの処理を担当するだけでなく、イベント全体が環境に配慮されたものになるように計画・実効をチェックします。

ごみ減量のためのチェックポイント

- 【企画】 企画の段階から「ごみが出ない・出さない」エコイベントの開催を心がけます。(リデュース)
- ごみ減量担当者を決め、スタッフチームをつくります
- ごみ箱を出来るだけ置かないようにします
- 会場内で飲食物を扱わないイベントの場合は、ごみを持ち帰ってもらいます
- イベント出展者にごみ処理費用の負担を求めます。
- イベント開催前、終了後には会場周辺を清掃します
- 【広報】 エコイベントの内容を公表し、参加者や関係者に理解と行動を呼びかけます
- 水筒、マイバッグ等の持参を呼びかけます
- ポスター、チラシ、記者発表資料等の印刷物にエコイベントであることを明記します
- 印刷物は再生紙を使用し、作成部数を最小限にします
- 余った印刷物は資源化します(リサイクル)
- 【実践】 参加者に「ごみの持ち帰り」を呼びかけます
- 会場にごみステーションを設け分別収集を徹底します
- ごみステーションに人を配置して参加者と一緒に分別します。
- 食器は再使用できる陶器などを使用します
- 繰り返し使える食器のレンタルを検討します(リユース)
- 陶器などを使用できない場合は、環境に配慮した素材(紙製・木製)の容器を使用します
- ペットボトル、空き缶、紙類等は少量でも資源物回収業者に売却します。(リサイクル)